

花巻歴史探訪 [郷土ゆかりの文化財編]

Trace the history of Hanamaki



▲「紫紺染について」草稿 第1葉

童話 「紫紺染について」

伝統工芸 復活の物語

◆問い合わせ

宮沢賢治記念館 ☎31-2319

宮沢賢治の童話「紫紺染について」は、盛岡の特産物「紫紺染」を復興させようと、工芸学校の先生や町の研究会の人たちが相談し、かつて紫紺(*)を取り扱っていたといわれている山男から製法を聞き出す、というお話です。賢治は「紫紺染」と書きましたが、これは染色技法である「紫根染」と同義で、日本に古くから伝わる草木染のことです。実際に盛岡の紫根染は、明治期になると技法を伝える人がいなくなり、大正期に入ってから秋田県の花輪地方に残っていた技術者を招いて学ぶことで、復興したという歴史があります。大正11年3月に開かれた平和記念東京博覧会では、南部紫根染研究所から出品した紫根染の製品が入賞し、「紫根染」の復活が新聞で報じられたといえます。

賢治はその背景を基に、山男を町に招きもてなすことで「紫紺」の秘法を聞き出す物語を書きました。町民は大酒を飲む山男を気味悪く思うのですが、この山男がお酒を飲まないという体質であることが最後に明かされ、無事にな願が叶います。復興の背景にこんな出来事があったとしたら…。賢治はそんなワクワクする気持ちを抱きながら筆を走らせたのかもしれない。

◎宮沢賢治記念館特別展「童話 紫紺染について」
■会期：2月22日(土)～5月6日(火)
(振休)

*染料のもととなる草の根のこと

花巻市 12月のデータ (12月31日現在)

<p>■人 口=89,862人(男43,048人、女46,814人)</p> <p>■世帯数=39,000世帯</p> <p>○前年同期</p> <p>人 口=91,087人(男43,658人、女47,429人)</p> <p>世帯数=38,843世帯</p> <p>※人口・世帯数について詳しくは、本館市民登録課(☎41-3547)へ</p>	<p>12月 (本年累計・前年同期累計比)</p> <p>■交通事故=人身事故/ 11件 (147件・-4件)</p> <p>死者/ 0人 (2人・+1人)</p> <p>負傷者/ 15人 (177人・-21人)</p> <p>■火災=火災件数/ 1件 (44件・+13件)</p> <p>焼死者/ 0人 (5人・+3人)</p> <p>■救急活動=出動件数/ 471件 (4,537件・-207件)</p> <p>搬送人員/ 408人 (4,064人・-85人)</p>
--	--

広報はなまき

一次回一
2月1日発行予定

No.438 令和7年(2025)1月15日発行
[毎月1日・15日発行]
発行●花巻市
〒025-8601 岩手県花巻市花城町9番30号
☎0198-24-2111 ☎0198-24-0259
編集●総合政策部広報情報課
印刷●川嶋印刷株式会社

◆花巻市のホームページ・SNS



ホームページ

- フェイスブック @city.hanamaki
- エックス @city_hanamaki
- インスタグラム @city_hanamaki
- ユーチューブ @hanamakicity

LINE友だち募集中



古紙を配合した再生紙を使用しています